



## 流鏑馬、来場者ら歓声

「もののふ祭り」初開催

日本に伝わるさまざまな武芸や武術を体感できるイベント「珠流河(するが)もののふ祭り」(同実行委員会主催)が5日、沼津市の沼津御用邸記念公園

沼津御用邸  
記念公園

で初めて開かれた。親子連れが訪れ、流鏑馬(やぶさめ)を見学したり、矢を射つたりして楽しんだ。

合氣道や柔道、居合道、放鷹術など県内外の約10団体が参加し、

「珠流河もののふ祭り」で披露された流鏑馬(沼津市沼津御用邸記念公園)

園内のステージで演武を行った。よろいに身を包み、馬に乗つて走りながら三つの的を矢で射る流鏑馬も披露され、矢が的に当たると、来場者から大きな歓声が湧き起こった。弓や手裏剣、乗馬などを体験できるコーナーもあり、子供らが遊びながら、日本に伝わる武芸や武術を学んだ。

実行委員長で沼津市出身の杉本健太さん(41)は「東京都(41)は「日本本来の武道の良さを感じてもらえたうれしい」と話した。(東部総局・松本直樹)



静岡新聞